大学院リーグのデザイン (個別テーマ)

イノベーティブな発想で社会課題を解決に導いた 社会人博士の成功事例

三重大学大学院 地域イノベーション学研究科 では西村訓弘教授(右写真)が開催しているゼミを 通して

- 学生の意識
- 教員の意識
- ・地域の意識
- ・大学の意識

を変えることに成功している。

西村ゼミの特徴は PM(Project Management)教員による **キャリアパス拡充教育**であると考えられる



参考)

三重大学大学院 地域イノベーション学研究科HP、https://www.sporr.mie-u.ac.jp/wp-content/uploads/2020/11/01c06709d152369a3fbecbb9b04524c0.pdf、等

大学院リーグのデザイン (個別テーマ)

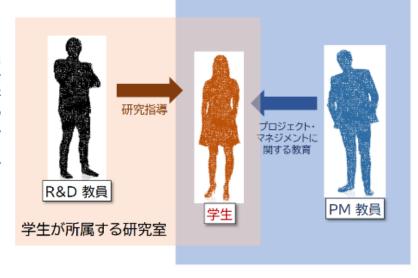
地域イノベーション学研究科が提供する教育の特徴

2種類の教員によるサンドイッチ教育

研究遂行に関する指導

修士論文、博士論文の作成に向けた研究活動を研究指導を行う教員(R&D教員)の研究室に所属して、実施する。研究遂行を通した論理的思考力を身に付けさせる。

(通常の大学院での教育)



プロジェクト・マネジメン トに関する教育

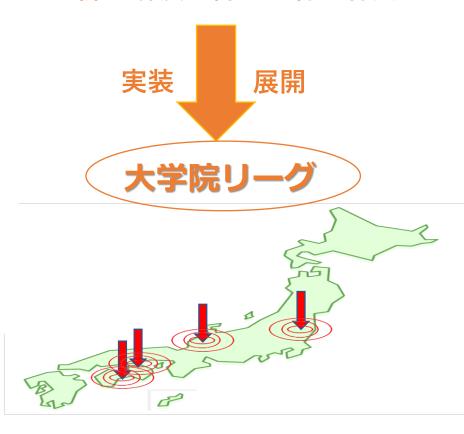
研究指導は行わず、学生が 行っている研究内容を題材 として、本研究を行う意義 (社会的価値)、発展性(社 会進歩への寄与)などを議 論を通して熟考し、理解を 深めることで、自らが主導 して研究を考え、実行する 基礎力を身に付けさせる。

(本研究科に特徴的な教育)

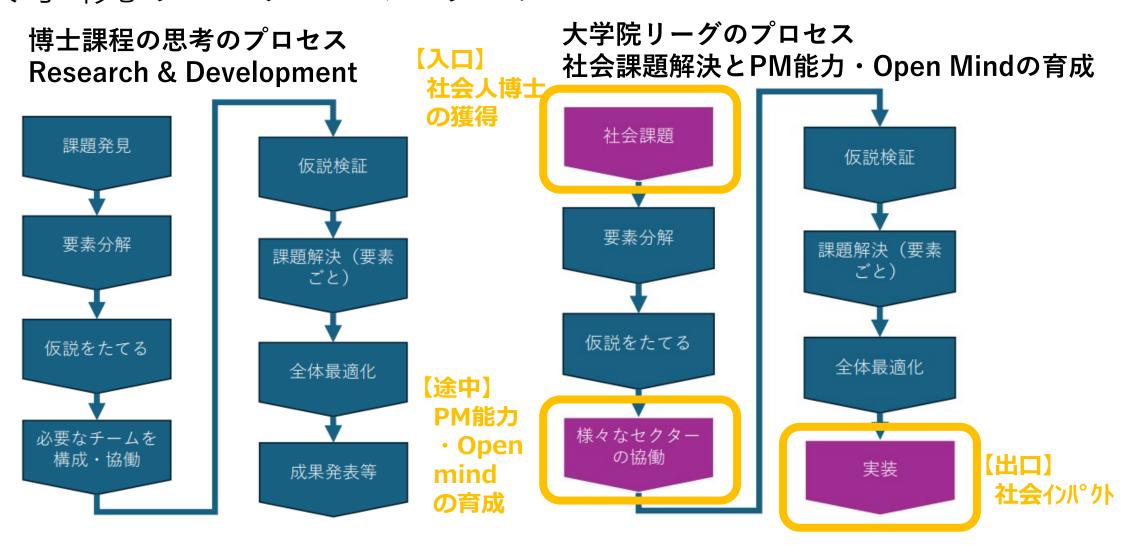
地域イノベーション学研究科では、研究を指導する教員(R&D教員)とプロジェクトマネジメントを 指導する教員(PM教員)が並走して1人の学生を教育する「サンドイッチ型教育」を行っている。

出典:西村訓弘、大学支援フォーラムPEAKS基調講演資料 「博士人材が産業界で活躍することの意義-「社長100人博士化計画」の試みから考える-L

サンドイッチ教育による 課題解決型博士人材の育成



大学院リーグのデザイン



研究大学コンソーシアム「(提言)これからの博士人材の育成の考え方」 https://www.ruconsortium.jp/asset/d86cea28ff83d7c1060f3645fd33971fd1117ba4.pdf

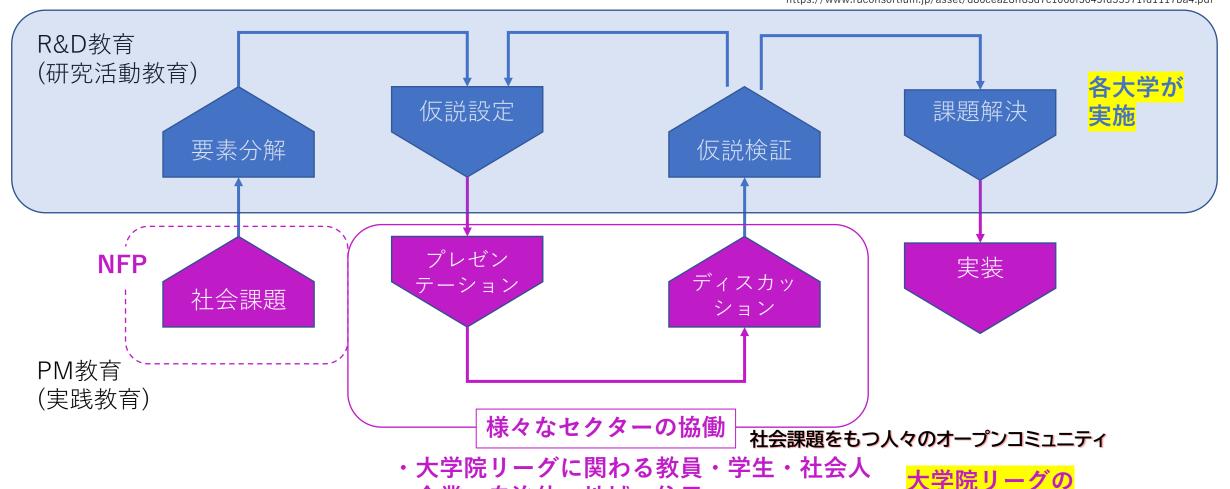
大学院リーグのサンドイッチ教育

大学間の連携で PM教育を行う

研究大学コンソーシアム

「(提言)これからの博士人材の育成の考え方」より項目使用 https://www.ruconsortium.jp/asset/d86cea28ff83d7c1060f3645fd33971fd1117ba4.pdf

協働により実施



・企業・自治体・地域・住民

・社会の博士人材コミュニティ